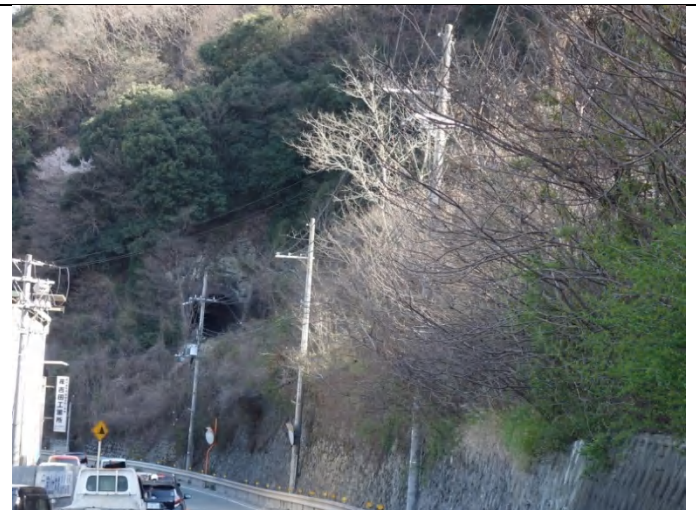




新しい国行為道は木之元付近から福知山線廃線敷を通る



大多田川付近のトンネル



大多田川合流点



大きく景観が変わりそうな西宝橋付近の現状



西宝橋下流側



濁水は森興橋上流から見返り岩付近まで及んでいた。

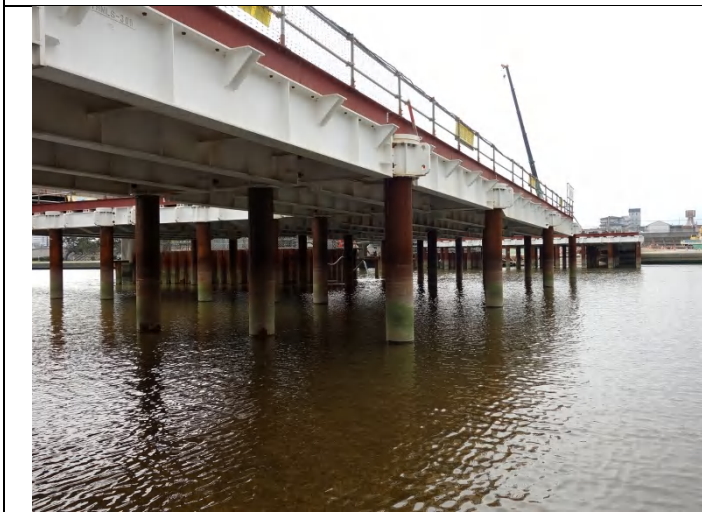




両岸の橋梁基部下部構造物工事始まる



橋脚上部鉄筋組み立て工事始まる



作業足台杭 (見た目より粗でアユ遡上障害にならない)



南部橋橋脚の老朽化状況



2号堰鋼製魚道設置された 滑り台状のものが追加された



干潮時の潮止め堰アユ遡上の兆しなし

青葉台地区の瀬変え工事と並行して国道176号線付け替え工事(現地説明には名塩道になっている。)名塩付近で何でこんなところに螺旋状の道路作るのか不思議な気がしていたが、少しずつ点線を打つように進められ、点が線になり、名塩バイパストンネルが出来てぼんやり176号線代替道路を作っているくらいにしか認識出来なかった。大多田橋工事現場に掲げられた全体図を見て初めて青葉台地区の改修工事と一体化した工事であることが読み取れるようになった。木之元付近で行われていた道路工事が名塩道と理解出来た。青葉台地区の改修工事と176号線の取り合いがどうなるのか非常に気がかりであったが、福知山線廃線敷を利用するようで、こんな使い方があったのかと驚いた。瀬変え工事、西宝橋架け替え、大多田橋架け替え、県道51号線(宝塚唐櫃線)取り付け部改修工事で大変く景観が変わりそうで、昔の景観が一つ一つ失われていくのが寂しい。しかし安全で便利にはなり、止む得ないことも知れない。願わくば座頭谷や木之元地蔵の伝説など地域に残る文化だけは継承してほしいものだ。

今シーズンは豪雨や洪水もなく天候に恵まれ南部橋架け替え工事は順調に進んでいるように見える。橋脚上部鉄筋組み立てが始まり次いで型枠工事が始まる模様。型枠が出来れば橋脚完成まであと一息といったところで、出水期の6月迄には橋脚完成し、次の工事期間で橋桁も架かるだろう。完成したら次は潮止め堰撤去工事が始まることだろう。

今年も鋼製魚道が設置された。新たに滑り台状の魚道も追加されたが、肝心のアユ遡上の兆しはない。